

## 琵琶湖・CO<sub>2</sub>ネットゼロ対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和5年1月24日（火）

### 2 調査の概要

#### (1) 湖南省（湖南省中央）

湖南省では、地域住民が中心となって平成24年に立ち上げた「一般社団法人コナン市民共同発電所プロジェクト」による小規模分散型の市民共同発電所と、市等が出資する自治体新電力会社「こなんウルトラパワー株式会社」（平成28年設立）を核に、こなんウルトラパワー株式会社が市民共同発電所の電力を買い取ることで、自然エネルギー活用によるエネルギー費用流出の抑制やCO<sub>2</sub>排出量削減を目指す取組を進めている。

11月には、「さりげない支えあいのまちづくり オール湖南で取り組む脱炭素化プロジェクト」が第2回脱炭素先行地域に環境省から選定され、エリア内の福祉施設や公共施設などへの太陽光発電、蓄電池等の導入や、林福連携により供給される木質バイオマス燃料を活用するバイオマスボイラー等の導入を進めることで、福祉施設への安定的な電力供給を実現するとともに、すべての人々が活躍する地域のつながりの創出を目指す脱炭素化を進めることとしている。

本委員会は、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進についてを重点調査項目に掲げて調査研究を行っており、今後の委員会活動の参考とするため、同取組の調査を行った。



(2) 鹿深夢の森、甲賀市子育て世代包括支援センター「ここもーり」（甲賀市甲賀町）

第72回全国植樹祭の主会場となった鹿深夢の森を所管する甲賀市では、木育の取組や地域産材の利用を推進していくため、11月24日に滋賀県内の市町として初めてウッドスタート宣言をするなど、一人でも多くの方が森林に関心を持ち、健全な森林を次の世代へ引き継ぐための取組を行っている。

本委員会では、琵琶湖をとりまく森林および治水対策についてを重点調査項目に掲げており、今後の委員会活動の参考とするため、同施設を訪問し、県産材の利用促進に関する取組について調査を行った。

